



私の仕えるお方は
良家の御令嬢だ

いつも大人びていて美しく
私にも優しい憧れのお方…

だけど…

どう？

どういわけか今日は
メイド服をお召しに
なっている

似合うかな

ひゅっ

はい！

とっても！

キーン

…正直すごく良い
可愛すぎてずっと
見ていたい

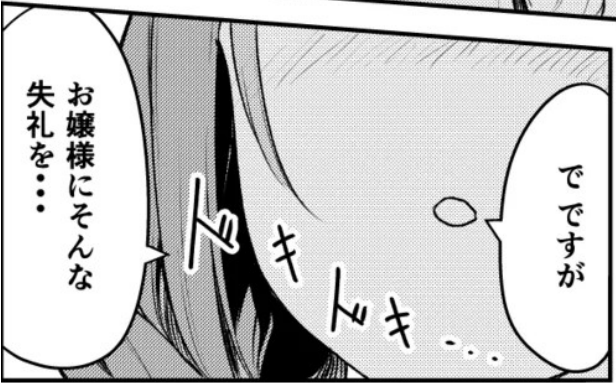
…けれど
どうして突然？



今日1日は私があなたの
メイドだよ



特別になんでも
いうこと聞いてあげる



お嬢様にそんな
失礼を...

ですが

キキキ...



あなたが私に命令するんだよ



日頃のお礼だから
遠慮しなくていいよ

なんでも好きなこと言って?



お嬢様が
私の...

すごく嬉しいけど
本当にいいのだろうか...

キキキ...

お嬢様に命令…
なんだかすごく
ドキドキする…

じゃあ…

ギュッとして…欲しいです

良いけど
それだけ？

うう…

キスもしたい
…です

良いよ

どうぞ

ダメ…お嬢様の
メイド姿が可愛すぎて

申し訳ありません

…我慢できません



いいよ
仕方ない子ね？



あつ…
お嬢様…
もう知らないですよ…？



今日だけは
お嬢様は
私だけのものです…
もっとお嬢様が欲しい…

ん…っ

お嬢様の全てを

ん……
や……あ……

まだ……

まだ足りません……

あ……

ぴん

独り占めしたく
なってしまう……

ちや……

